

平成29年度 第2回まちづくりトーク アンケート調査 集計結果 「自治基本条例はなぜ必要？」

平成29年5月20日(土) 14:00 ~ 16:00
市役所5階会議室

来場数	86	全体回収数	73	回収率	84.9%
-----	----	-------	----	-----	-------

1 あなたのお住まいは

市外	市内	逗子	桜山	沼間	池子
		13	13	10	10
0	73	17.8%	17.8%	13.7%	13.7%
0.0%	100.0%	山の根	久木	小坪	新宿
		4	8	13	2
		5.5%	11.0%	17.8%	2.7%

2 年代は

	回答数	割合
① 20歳未満	1	1.4%
② 20歳代	0	0.0%
③ 30歳代	0	0.0%
④ 40歳代	2	2.7%
⑤ 50歳代	9	12.3%
⑥ 60歳代	20	27.4%
⑦ 70歳	30	41.1%
⑧ 80歳以上	11	15.1%
無記入	0	0.0%
合計	73	100.0%

3 あなたは「逗子の未来協議会」の参加者ですか

	回答数	割合
参加者である	18	24.7%
参加者ではない	53	72.6%

無回答2

4 あなたが所属している団体等を教えてください(複数回答可)

	回答数
所属していない	3
自治会・町内会	41
住民自治協議会	10
市民活動支援補助金の交付を受けている団体	13
市民活動・生涯学習団体	15
市の計画に係る懇話会・審議会	9
社会福祉協議会登録ボランティアグループ	9
その他	6

5 まちづくりトークの開催をどのようにして知りましたか(複数回答可)

	回答数
広報ずし	6
FM	0
団体・知人	11
市からの☎知らせ	58
広報板 ポスター	2
チラシ	4
HP	1
その他	0

- 自治とは、住民とは一定義に拘る空理空論が多すぎる。
- 具体性のない自己主張など無駄なこと。
- 2020 のオリンピック・パラリンピックの関連について、市としてはどのように対応を考えているか
- 同上に関連して市には宿泊の施設がない。他県から多勢の人の流入に対応できない。
- 市の 5 年・10 年先といった永いスパンをどのように考えているか。
- 若い人が逗子に入りやすい環境。
- 地方自治と市民自治の考え方が難しく、会場の混乱をきたしている。
- 難聴者です。最初になぜ要約筆記者が必要かを説明して欲しい。
- 会議のために人を集めるには、事前に趣旨・目的を明確にすべしとの意見が多かったが私も同感である。にもかかわらず、真剣に議論する人が多く感銘を受けた。
- 話し合ってみると市に対する不満が多いようです。市民の意見に耳を傾けて逗子市を盛り上げてもらいたいです。
- 自治基本条例は市の方針の根幹、一般の各条例より上位概念であるべきであり、市としてはまず自治基本条例が設定され、その下に部門条例が定められるのが妥当であろう。今後、部門条例を改定する考えはあるのか。
- 自治基本条例の目的の一つとして、各市民団体が活動もより円滑に進められるとのことと言われるが、条例の審議と共に現状の第二次逗子市総合計画の個別計画の推進について具体的諸問題に取り組む担当部署の取り組む姿勢に一段の真剣味が要望される。企画部門と実施部門との解離が痛感される。
- 自治・自治会と言う前に、町内での人の絆を如何に強めてゆくかが課題だと思いました。逗子は海・山・川があり、自然に恵まれた環境です。それをより良い街にして、逗子を訪れる観光客をたらしめるようにする名案が市民レベルで出てくるのが大切ではないでしょうか。具体案を項目・ジャンル別にグループに分け、有志でまちづくりの協議ができるようになればと考えます。
- 今はやりの言葉で言えば、「市民ファースト」を中心に進めるべきだ。柏市は子育て支援で人口増を成功させている → 特化した動きが効果的である
- ワークショップの再スタートを待っています。“自治基本条例”と“未来協議会”をもっと話し合えたらと願っています。
- 逗子は老人の町になってきました。若い人を引きとめる、又は来てもらえる方法はないか。
- 老人の一人住まいが多くなると思います。その対策はないか。
- 米軍住宅があり、米国人とのつながり、英語力の UP を逗子市の特化にできないか。

- 自然豊かな逗子、遊歩道の整備。
- 自治とは？
もう少し大きな問題でなく、小さな個別に適応して行政又は議会で話し合いが必要です。 → 市民生活に反映すると思う。
ずし広報に意見、その他を集約して欲しい。
議会の広報をもっと詳しく載せてほしい。
今回のことをずし広報に載せるべきです。
- ニセコ町の自治条例と同等の条例を制定してほしい。
- 私が「自治」について感じることを考えること
 - ➡ 住みやすい町にするために
 - 住民なのか市民なのか
 - 条例は法律
- 条例化と自治のテーマのトークはかみ合わない。具体的に目的・主旨を明確にした中（内容）でトークすべき。
- 自治で一番大切なことは市民行政に個々が耳を傾けることが必要だということを感じました。
但し、目的が何か視点がぼやけて良く分からなかった。限られた時間なので、視点をしばってほしい。
- 市側、特に各課の人々が既存自治会、又は住民と進んで話し合いの場をもつ努力をしてもらいたい。
各テーマ別に話しの内容を詰めていき充実されたところで自治基本条例の素案が作られ、その後に条例そのものを討議すべきです。
市側の努力を求めます。
- 明るく安全な町にするため、防犯カメラを多く付けてほしい。
- 年寄りが多いのでなるべくバリアフリーにしてほしい。
- まず、「自治」について検討する前に、本会の目的、集まった市民に期待したい事、今までの「未来協議会」で1年間検討してきた成果・課題を示していただかないと「何を、何から話してよいか」が分からない、が問題です。
- グループで話し合った内容は、上記に関する事で多くの時間がとられてしまった。
- 他のトークでも見られることですが、予め資料・課題を提示した上で参加者を募るのがよろしいかと思えます。
- 最後になりましたが、高齢化進み、職員・予算は増えない現状では市民が受けられるサービスは減少し、限りがあるので、ある範囲で市民が担うことは必要。従って、条例も必要になると思いますので、本会の目的は私なりに同意します。
- 「自治」の定義を要するという意見が改めて出た。重要！
「自治基本条例」を作る方向性がどのように出てきたのかの情報開示を要する。
しかし、それを例えば部長会議だけで決めるのではなく市民参加で検討させて

いるのは大変良い。

各種審議会など過大なほどだが、市民委員の数が乏しい。この条例成立の際には、いつもこの種の審議会みたいのではなく、市民が100人くらい自由に参加でき庁内横断的に議論し、自己決定権による政策へつなげられるようになることを期待する。その組織づくりが求められる。

- 『逗子自治基本条例』

自治とは。

自分の住む町、その町での暮らし方について、少しでも自分（市民）が関わるのであれば素晴らしいことだと思います。

あまりにも遠い道のりと思えますが、少しでも声を挙げ続けて未来の自分の住む町が暮らしやすくなれば嬉しいことだと思います。

自治基本条例の制定に関して、市民も参加して話し合いの場をもとうとした市の姿勢は好ましいと思いました。

- 面白かったです。いろいろな人がいるので大変ですよ〜。
- 具体的な課題を整理して、その課題が解決できるような条例を作る必要がある。市民は多くの行政手続きや対応に課題があると考えている。
- 自治とは、自分含む自分の周りが良ければ良いということか？ となれば百人百様の自治条例が必要となる。
- このワークショップは、ブレインストーミングとならざるを得ないから、結論をみることは困難（コーディネーターさんもそれを望んではいないと思うが）。基本条例を策定し、市民の総意を問うことは議会、行政の仕事。
- 都市憲章・都市宣言なり言葉が先でそれに肉付けするか、それとも先に肉を肥やしてから言葉を編み出すか、悩ましい。
- 条例制定の手順が違うのではないか。個々の問題を整理してから進めるべきである。
- 先ず、「どんな町をつくりたいか」というテーマからスタートしたらいかかだと思います。
- 自ずから考え、実行する。これが自治の基本だと思います。議会制民主主義の限界が来ていると思います。現実問題をどう解決するか、広く市民に問う必要があります。それが自治基本条例作成への取り組みの会でしょうし、出来上がったら実行する会を実現していきましょう。
- 主旨が明確になっていない。着地点がどこなのか？ もっと論点を事前に絞り込むべき。
- 急に“自治”と言われても範囲が広く、何を主体に考えるかよく解らない。問題はまず地域が何を望んでいるのかを把握することが先決と思うが、常時、自治に活動しなく急に出てきて自治を議論することができるのか疑問に思う。
- 条例を決めるにあたって明確にする必要があると思う。また、若い人に参加を求める必要があると言っているが、関心が高まるような工夫がなされているの

だろうか。多くの意見を取り入れたいだとか、こうしたいとか思っただけでは意味がない。

何においても、多くの意見を取り入れ、必要かを市民の立場で判断し行うべきであると思う。

- まちづくりトークがあることは知っているが、その経過がないのでさっぱりわからない。資料が欲しい。(始める前の感想)
- “自治”の定義は？ 誰が決めるのか？個人個人の定義で議論できるのか？
- 市役所に対してのお願い
市民の報告（情報）する手段を重視して欲しい
- 情報の発信回数を多くしなければ、市民に浸透しないと思う。
- 広報活動（選挙活動のように）が充実させなければ、市民の賛成が得られる条例は作られないと思う。
- 【質問】市議会が条例制定に反対する理由が知りたい。

【提案】「市（地方自治体）の憲法」として、自治基本条例が必要不可欠なことは言うまでもないが立派な市民参加条例（全国に誇るべき）がある尚更、その感が深い。

H29.3.25のワークショップの開催（が） 市議会で否決された時の市長からの報告の中に「市議会もワークショップに参加させよ！」聞いたが、市政の二元制（市長と議会）の中で自治基本条例の制定については、一般に両者の意見が別々になるのは一面尤もなことである（当然）。

そこで、私の提案だが、ワークショップに市議会の代表（議長その他）に参加してもらい、市民の意見・市民の声を十分に聞いてもらった上で・・・、市議会が中心になって制定してもらおう（それをよく討議した上で市長も承認し）正式な市の条例を作ることなども考えられないか？

千葉の我孫子市では、市長の提案で制定しようとしたものが、議会で否決され、長野県飯田市では議会提案の自治基本条例を市長が認めて（反対せず）条例制定が成立したと聞く。

要は、市長も市議会も市民も三者協働で成立にもって行くには、これも一案かな…と考えるからである。真に共有するためには実施への移行、行動面での問題。

【要望】条例が成立したあかつきには、市長に是非それに「魂を是非入れて」欲しい。市民参加条例にせよ、その他もろもろの条例にせよ市の法律数多くの条例を形式として作ることは悪いこととは思わないし、必要なことであるがそれらの条例の全てに必ずしも「魂が入ってる」とは思われない節があるからである。夢は語られているが実現への道筋が明確でないという意見と似ている。

- 協議会に参加、8回も議論されている方でも条例の設置目的、何を意図としているのか分からないとのこと。
参加者にギャップがあり過ぎて土俵が同じではないので現状をまとめるには無理があるのではないか。

基本条例より海岸問題のように個別に対応していった良いのではないか。
小さいエリアでやることがいくらでもあるのでそちらの方を充実させることの方が大切。

- 種々多様の中で第一案として老人（高齢者）に対する問題が重要だと思う。
高齢化の高い逗子市では全てが「老人に優しい住み易い街」であることを第一に考えてほしい。第一のモデルに全国に広めたいではありませんか？
- 今回のトークとは全く関係ありませんが、東逗子駅の前の像ですが、駅から出ると“おしり”に迎えられ、駅を利用する時にも“おしり”を向けられて送られています。

本件について住民の意見を集めて、問題が多いという意見があれば、対策を取っていただけないでしょうか。